

ひらめ

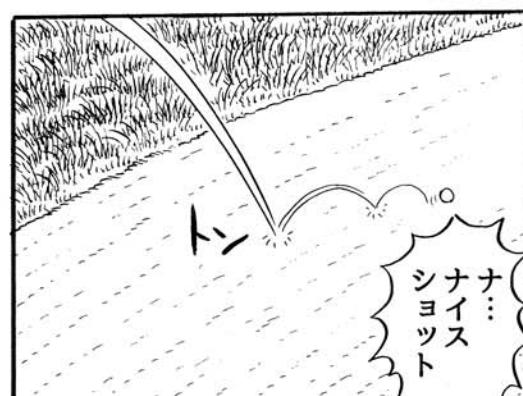
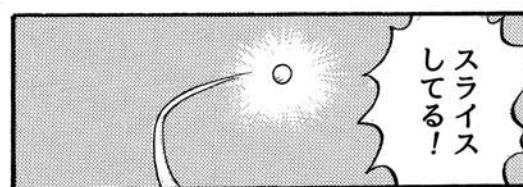
# 閃きの番人

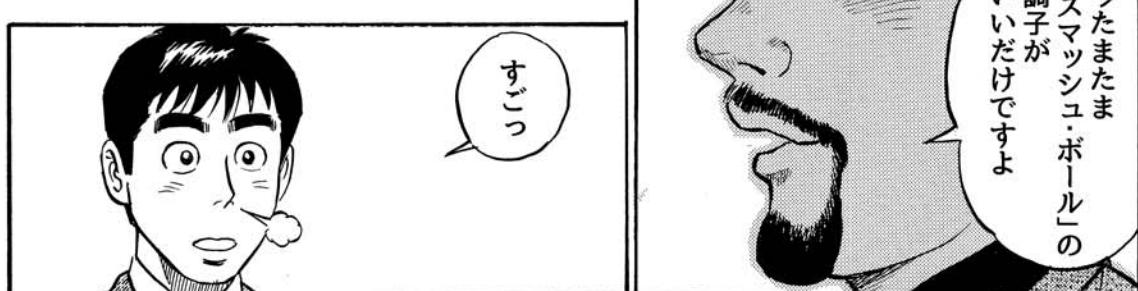
弁理士ジョージの事件簿

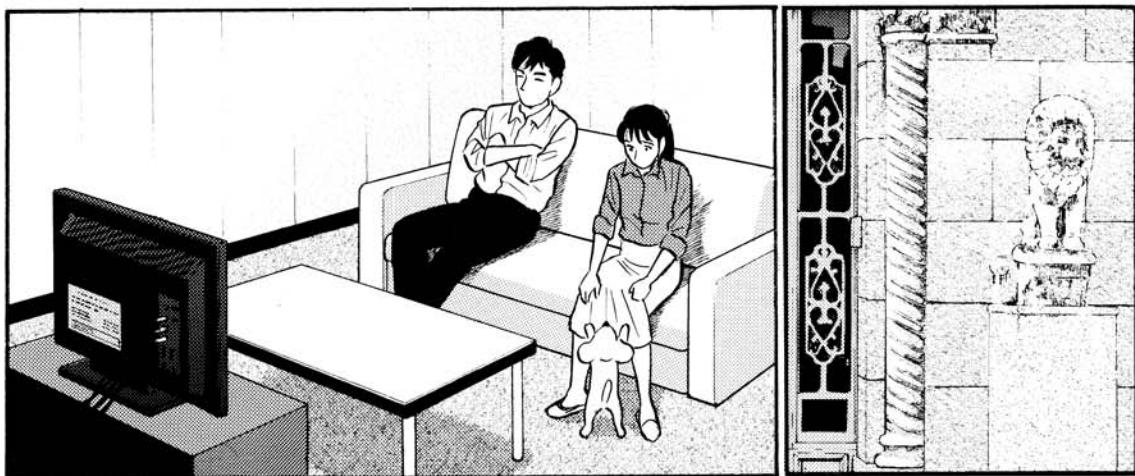
FILE 011：逆転のIT社長 ソフトウェア特許（前編）

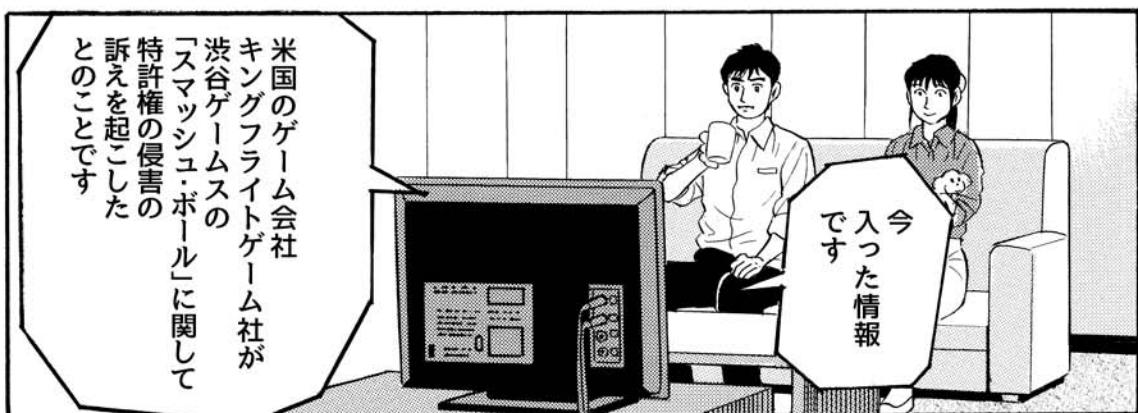
作画：ヒロカネプロダクション

監修：日本弁理士会







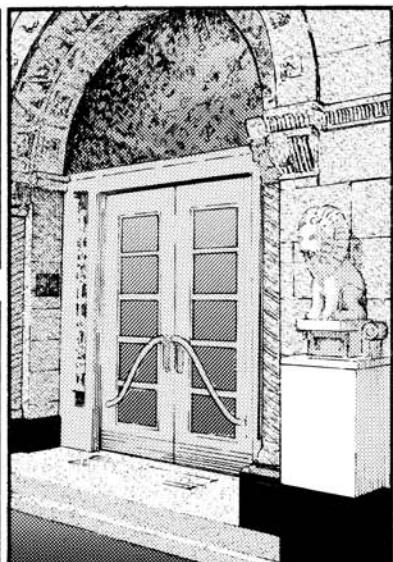


渋谷ゲームス本社



昨日 特許権侵害の訴えを起こされた渋谷ゲームス本社前には多くの報道陣が詰めかけています







六本木ヒルズレジデンス



ジョージ先生 桐生先生  
これが訴えを起こしてきました  
キングフライトゲーム社の  
特許権の詳細になります

ゲーム内通貨の  
課金方法  
ランキング・システムの  
5件の特許に基づく  
訴えになります

実はゲームに関しては  
桐生の方が普段から  
プレーしているので  
彼女に初見の印象を  
聞いてみたいと  
思っています

ハア…  
そうですか…

なるほど…  
確かに各特許とも  
該当してしまいます



特許権の  
侵害などの場合  
具体的な経済的  
損失がなければ  
訴えても  
意味がないため

うちちは全て  
自社のプログラマー  
たちによる開発です  
他人の特許内容を  
真似て作るようなこと  
していません

わざと御社に  
利益を  
出させてから  
訴えてきたと  
考えられます

権藤先生

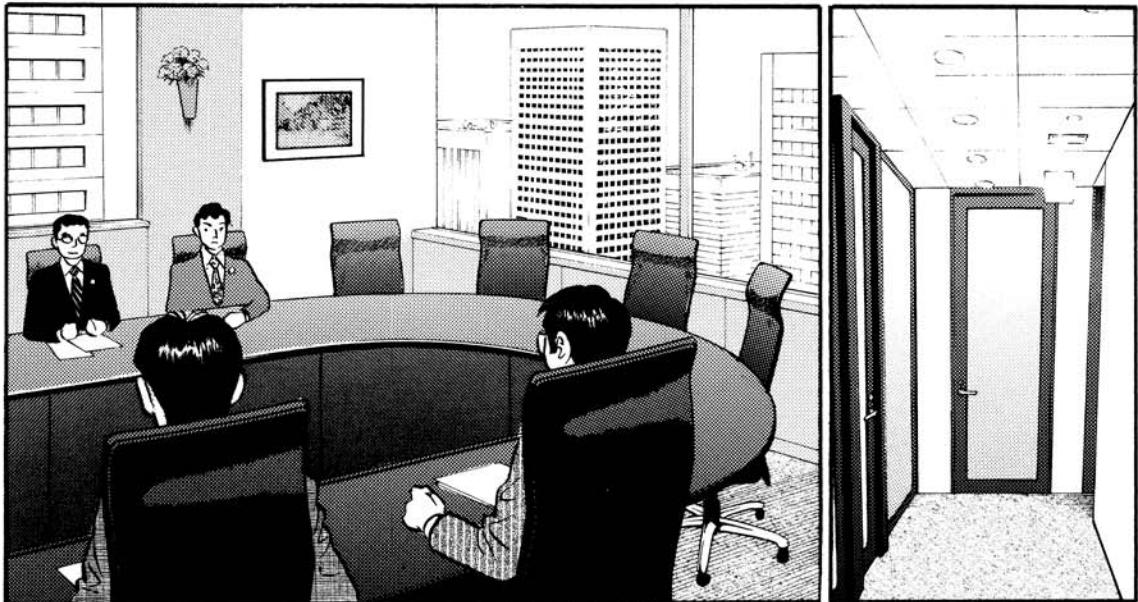
このあたり  
裁判で争え  
ないものだらうか

私としては  
裁判はおすすめしません  
まずは無効審判の  
請求を検討し  
無効の根拠となる資料が  
見つからないなどで  
難しそうなら  
示談での交渉を  
進めるべきです

第一に  
裁判となればそれだけで  
ゲームタイトルに対する  
イメージの悪化は  
避けられません  
また裁判で判決が下されると  
賠償金額が  
世間に公表されることになってしまいます





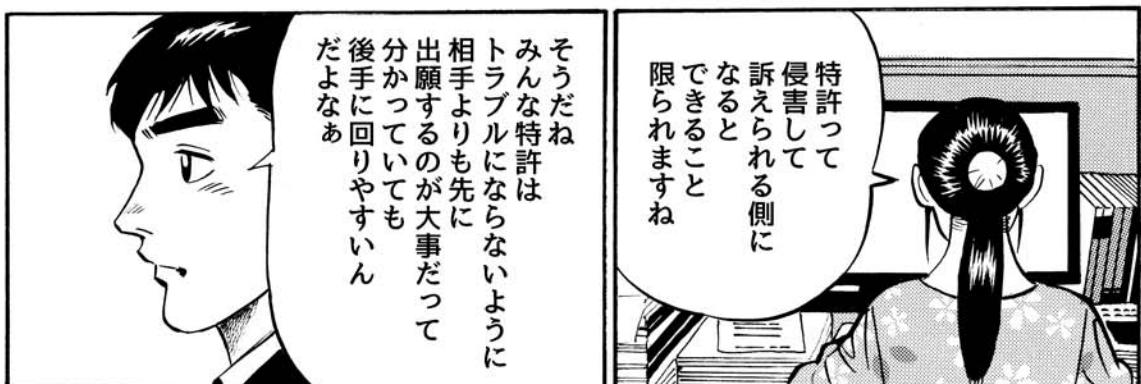
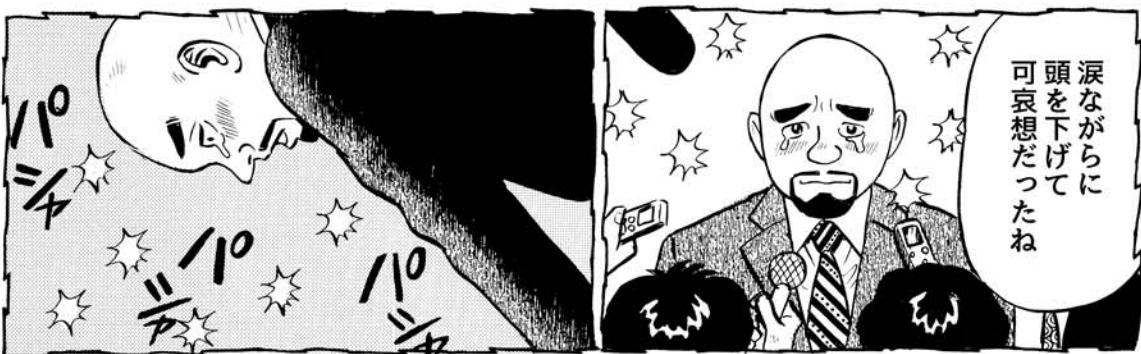


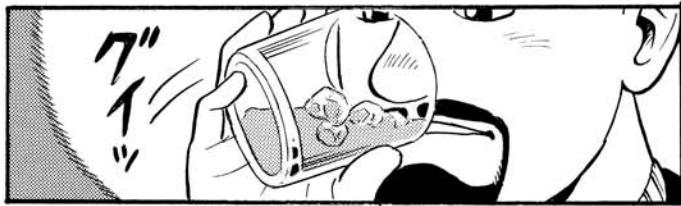
減額の主な理由は  
今回問題になつた  
箇所の仕様を  
素早く変更した  
ことでした

ライフ回復など  
4件の特許については  
ユーザへの大きな  
影響はなさそうですが  
ランキング・システムは  
ゲームの根幹部分で  
影響がありそうですね

DAU(一日あたりの  
ユーチャー数)は  
日に日に減っています  
それに比例して  
課金の売上も  
減つてきています

そうなんですが  
まさにランキング・システムの  
変更が原因で







<<<後編に続く

公開日:2019年2月

作画:ヒロカネプロダクション

原作:高津邦彦

監修:日本弁理士会

発行元:日本弁理士会

※この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称などは、実在のものとは関係ありません。

※当作品に掲載されている文章、キャラクター等の無断転載・無断加工を禁止しております。

※当冊子の販売等営利目的での使用を禁止しております。

問い合わせ先

日本弁理士会 広報室

e-mail:kouhou@jpaa.or.jp

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2

電話:03(3519)2361(直) FAX:03(3519)2706